

[大 切 な 皆 様 に 松 永 建 設 か ら お 贈 り す る ニ ュ ー ス ペ ー バ ー]



Matsunaga Head Line News

[マ ツ ナ ガ ・ ヘ ッ ド ラ イ ン ・ ニ ュ ー ス]

〒339-0043 埼玉県さいたま市岩槻区城南五丁目6番6号 TEL: 0120-980-633 FAX: 048-798-0075

MATSUNAGA 感動創造建設会社

2025年11月発行 発行元: 松永ホールディングス 発行人: 松永大祐
www.matsunaga.gr.jp



2025 November Vol.59



中小企業の救世主が語る 事業承継・成功の方程式とは？

CONTENTS

INTERVIEW インタビュー

P2 中小企業の救世主が語る事業承継・成功の方程式とは？

PROPERTY 竣工物件

P4 浦和区上木崎2丁目新築工事／ITOガレージコート

P5 (仮称) 東水堀包運輸株式会社倉庫新築工事／(仮称) 筑波サーキット敷地内建替計画

TOPICS トピックス

P6 IWATSUKI FESTIVAL 2025／松永建設グループ内定式／

さいたま市優秀建設工事業者表彰／三郷市優秀工事表彰

INTERVIEW インタビュー



中小企業の救世主が語る 事業承継・成功の方程式とは？

松永建設が提供するYouTubeチャンネル「まつけんチャンネル」では、毎月「少年のように夢を追い続ける」様々な経営者の皆様を紹介する「月刊 社長少年〜Tomorrow Never Knows〜」を配信しています。

今回は、10月配信のSeason2 episode15にご登場いただいた、税理士の畑中孝介先生（ビジネスブレイングループ代表CEO）のインタビューより抜粋してお届けします。テーマは「事業承継」。多くの顧客企業の税務サポートのみならず、経営コンサルティングを手掛け、事業承継の橋渡しも行う畑中先生が考える、「事業承継を成功させるためのポイント」とは？ 松永建設3代目社長の松永大祐が聞きました。

税理士・畑中先生のインタビューの全容はこちらの動画から見られます。事業承継のほか、日本酒インフルエンサーとしての顔など、趣味人としての生き方を語り尽くしています！



「企業を儲けさせること」が使命

松永 畑中先生とはもう15年ほどのお付き合いになります。先生は一般的な税理士とは少し観点が違うと感じています。税務のサポートや節税だけでなく、中小企業ならではの課題を的確にコンサルティングし、解決策やアドバイスを提示してくださる、まさに救世主のような存在です。

畑中 有難うございます（笑）。もともと新しいことが好きで、ベンチャーや成長志向の企業が好きなのです。また

「お客様にどうやって利益を出してもらって、儲かってもらうか」を考えるのが税理士の使命だと師匠に教えられました。節税対策も大事ですが、会社がたくさん儲かったほうが税収も上がるし、社会の幸福につながります。従業員さんの給料も上がって幸せですからね。

松永 確かに。それを生み出すのが税理士の仕事だという考え方は素晴らしいですね。

畑中 税理士は基本的にお客様と長く一緒に向き合える仕事です。私もほとんどのお客様と10年、15年一緒に走っ

ていて、「お互い年を取ったね」と話しながら、今後も長く成長できる企業をどうやってつくるかを一緒に考えていくのが私のポリシーですね。

事業承継という専門領域

松永 長年に渡り企業と伴走すれば生じる問題が「事業承継」です。先生は事業承継を税理士としての専門領域のひとつとしていますが、珍しいケースなのですか？

畑中 その知見を持つ税理士は多くありません。町の診療所でいえば、内科は多くても脳外科は少ないのと同じで特殊な領域です。最近では、同業の税理士からの紹介も増えています。「ちょっと無理なので手伝ってもらえますか」という感じで。

松永 本当に専門領域という観点ですね。事業承継の問題点を象徴するような事例があればお聞かせください。

畑中 二つご紹介します。一つは顧客ではなかったのですが紹介を受けて問題解決に乗り出した企業で、後継者である兄弟の仲が悪く、感情論と相続と事業承継を絡めて問題が複雑化していました。3カ月ほどかけて状況を第三者視点で整理整頓し、先代社長の力づくで解決できる問題と、

事業承継ファンドの活用で解決できる問題に分けて、感情的な確執も含めて3年がかりで事業承継そのものは一度終わらせたのです。いまは次のフェーズに入っています。

松永 事業承継は終わったのですよね？ 次のフェーズというと……。

畑中 承継後の次の対策と、企業グループの再編というフェーズに入っています。事業承継専門の銀行系ファンドやアドバイザー企業は、事業承継が済んだら手離れすることが多いのですが、「その後」に本質的な課題はあります。新体制で20年、30年と持続できる経営基盤を整えることはもちろん、さらに次世代の後継者育成や、「承継後に親子で決裂したらどうするのか？」という感情的なリスクにも先手を打っておく必要があります。

例えば、先代が後継者のことを信用しきれないのなら、黄金株（合併や解散など会社の重要事項に対し、1株でも拒否権を行使できる特別な株式）を先代に渡して、支配権を残しておいたほうが先代の過剰なコミットや親子の確執を防げる場合もあります。

「継ぐわけがない」という思い込みを解く

畑中 もう一つ印象的な事例は、「娘だから継がない」と思い込んでいたケースです。これは結構多いですね。「M&A企業に会社を任せようと思う」と社長がいうので、お嬢様に意思確認を勧めてみると「継ぐつもりでいた」というパターンがこの3年で3件ありました。

松永 話をしていなかったということですか。

畑中 親も勝手に思い込んでいるんです。「娘はいまの仕事を続けたいはずだ」とか、「子育てとの両立は大変だ」とか。それで後継者不在としてM&Aを検討するのですが、「本当はどう思っているんですか？」と聞くと、ほぼ全員が「本当は継いでほしい」というのです。

松永 ただ、それまでの下積みもなければ、能力的に不安な場合もありますよね？



畑中 その場合は、私は持株会社の設立を提案します。資本と経営を分割し、事業会社の切り盛りは生え抜きの社員に任せ、持株会社の資本家として監督する役割を任せるのです。そのうえで、事業も経理から始めるとか、子育てが落ち着くまではパートで参加して、やらせてみたら意外と人望を集め、誰もが後継者として認めていくパターンも実際にありました。

事業承継成功のポイント

松永 事業承継を成功させるために、先生が考える一番大事なポイントは何でしょうか？

畑中 事業承継後に、先代が口を出し過ぎないことですね。

松永 後継者として納得です。振り返ってみると、私の父は我慢してくれたなと思います。本当に重要なことだけは「どうなってんだ」と言いましたが、あとは自由にやらせてくれましたね。その方が責任感も生まれるし、70歳まで社長をやってきた方と30代の新社長では、見えている世界もアプローチの仕方も違うので、我慢して大局を見ることが大事だと身を持って思います。

畑中 継ぐ側も継がせる側も我慢ですよ。一方で、事業承継する前段階では、「後継者はお前だ」「この会社を継いでほしい」という意思を明確に伝え続けることが大切です。それを伝えておけば、社長が急に体調を壊して動けなくなっても後継者は心の準備ができていますから、私のような専門家がサポートできます。

松永 その他にも重要なポイントはありますか？

畑中 経営全般にいえることですが、意思決定のスピードですね。5分で決断したことと、1週間悩んで決断したことの結果は85%同じで、ほとんど差異はないといわれています。また、スピードを早めるには「完璧を求めない」ことが大切です。80点や70点でいいので、まずやってみて、少しずつ精度を上げて90点にできれば上出来です。

これは、事業承継の判断も同じで、タイミングは早いほど後継者のチャンスは広がります。思い立ったら後継者に仕事を任せてみて、打席に立って空振りを見せてあげて、育てていくことが大事です。

経営者として大切にしていること

松永 事業承継というテーマを通じて、経営者にとって最も大事なことも見えてきたように感じます。畑中先生ご自身も税理士であり経営者でもあります。経営者として何を大切にされていますか？

畑中 私は「人をつくる経営者が一番えらい」と考えています。お金を残すとか、事業を生み出すよりも、経営者は社会で活躍できる人を育てて、どんどん増やして送り出す



ビジネス・ブレイングループ
代表CEO 税理士

畑中 孝介（はたなか たかゆき）

1974年、北海道長万部生まれ。2001年12月、税理士登録。2015年にビジネス・ブレイン畑中税理士事務所を設立。上場企業の子会社から中小企業・公益法人・独立行政法人・ファンドまで幅広い企業の税務会計顧問業務に従事。

ことが一番いいことだと思うのです。

私自身、大学生のアルバイトとして税理士事務所で働かせてもらっていた頃に、先生と一緒に現場に連れて行ってくださり、様々な社長と話す機会や、経理担当の方への指導も任せてもらう経験を与えていただきました。現場に立たせてもらう経験があって、税理士の道に進む意思が固まったのです。

松永 畑中先生も大学生のインターンを積極的に受け入れ、そのまま採用するケースが多いですよね。それもご自身の経験があつてのことなのでしょう。

畑中 そうかもしれませんね。今は10人の学生インターンを迎え、現在まで就職を希望した3人を採用しています。これからも、インターンの子たちも含めて従業員教育をしっかり行い、現場で活躍しながらのびのび育つ人を増やしていきたいと思っています。

松永 私も「企業は人なり」と考えており非常に共感します。また、事業承継においても、承継後20年、30年と企業が存続するには、「人」の成長する場を整えることの重要性がお話の中からも伺えました。

畑中先生とは15年お付き合いさせていただいていますが、先生はこちらが悩んでいることや温度感を察して、必要な解決策を受け止めやすいアプローチでご提案いただけることが魅力だと感じていて、私自身も畑中先生に成長させていただいています。ぜひ、これからも日本の中小企業のために、ご活躍いただければと思います。先生、本日はありがとうございました。



これまでの配信エピソード

登場するのは、少年のような夢を追いかけている魅力的な若手経営者やリーダーたち。先人たちの意志を受け継ぎながら悪戦苦闘。いまや成功への道を歩みながらも、決して忘れない少年時代の夢。彼らの人生の転機やスイッチが入った瞬間を知ることが、あなたの未来への大きなヒントになるかもしれません！

Season.1

- 株式会社ロイヤルコーポレーション 田島 永一社長
- 株式会社ホソカワコーポレーション 細川 恵多社長
- 株式会社荻野精機製作所 荻野 真也社長
- プロゴルファー 宮里 美香選手
- プロレーサー 片岡 龍也選手
- 株式会社アクト 伊藤 啓介社長
- 日本女子プロサッカー・WEリーグ 小林 美由紀理事（当時）
- 株式会社FPコミュニケーションズ 浦田 健社長
- 株式会社サイサン 川本 武彦社長（当時）
- 参議院議員 古川 俊治議員

Season.2

- 衆議院議員 村井 英樹議員
- 株式会社三和商会 小宮 康一郎社長
- 埼玉県議会議員 小島 信昭議員
- 株式会社アンバー 田中 謙太郎社長
- 株式会社松永建設 松永 大祐（番外編）
- ビジネス・ブレイングループ 畑中 孝介税理士

松永建設公式
YouTubeチャンネル
「まつけんチャンネル」から
是非、ご覧ください！



PROPERTY 竣工物件



▶ 浦和区上木崎2丁目新築工事 ◀

〈発注者：株式会社永旺企画 様〉

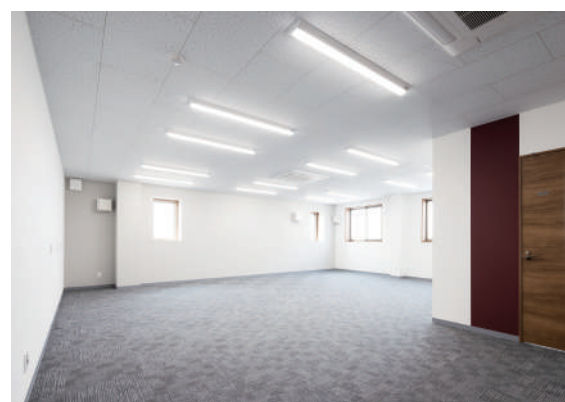
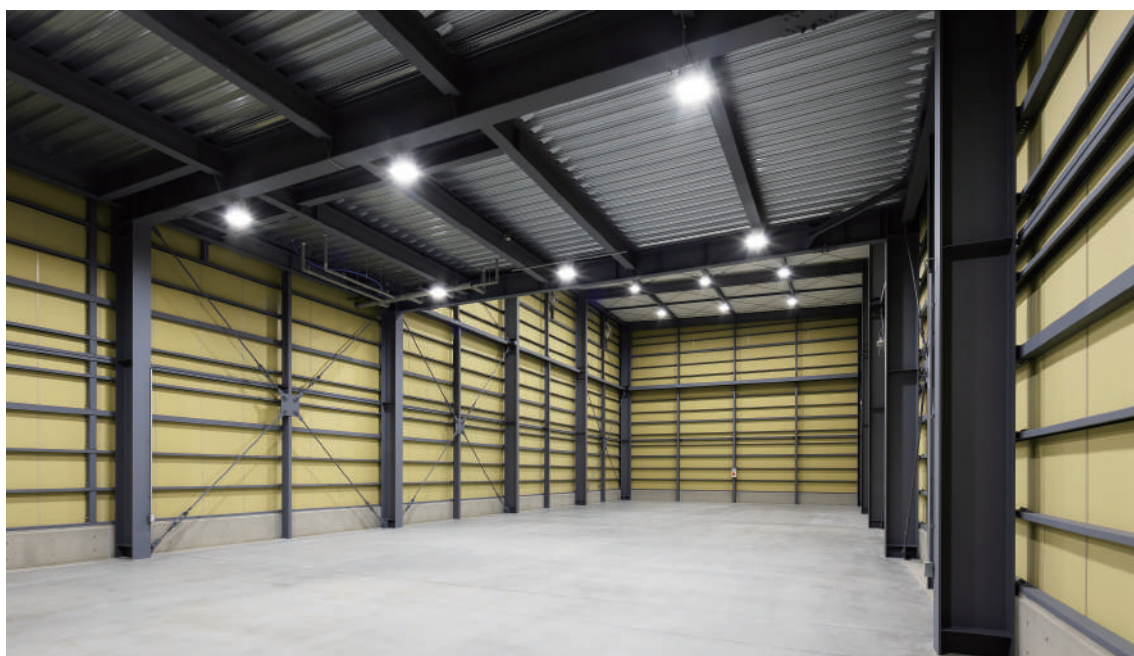
DATA	□ 竣工年月：2025年3月	□ 規模/構造：5階建/RC造
□ 延床面積：798.30㎡	□ 敷地面積：377.73㎡	□ 所在地：埼玉県さいたま市浦和区



▶ ITOガレージコート ◀

〈発注者：I 様〉

DATA	□ 竣工年月：2025年3月	□ 規模/構造：2階建/木造
□ 延床面積：208.07㎡	□ 敷地面積：460.41㎡	□ 所在地：埼玉県富士見市

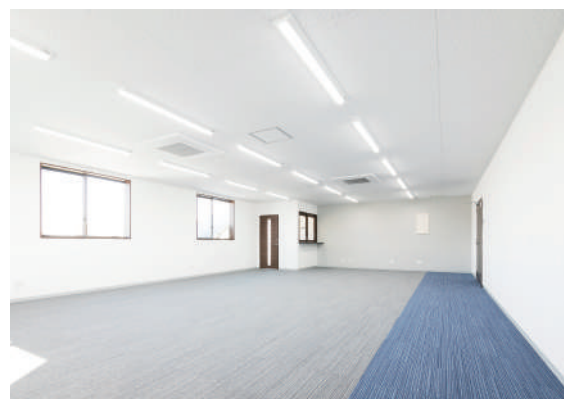


▶ (仮称) 東水梱包運輸株式会社倉庫新築工事 ◀

〈発注者：東水梱包運輸株式会社 様〉

DATA

□ 竣工年月：2025年3月 □ 規模/構造：2階建/S造
□ 延床面積：614.58㎡ □ 敷地面積：691.81㎡ □ 所在地：埼玉県さいたま市西区



▶ (仮称) 筑波サーキット敷地内建替計画 ◀

〈発注者：一般財団法人日本オートスポーツセンター 様〉

DATA

□ 竣工年月：2025年6月 □ 規模/構造：2階建/S造
□ 延床面積：529.01㎡ □ 敷地面積：202,329.32㎡ □ 所在地：茨城県下妻市

TOPICS トピックス

「IWATSUKI FESTIVAL 2025」を開催

岩槻区の夏の風物詩として知られる「人形のまち 岩槻まつり」が、今年も8月10日に岩槻駅周辺エリアで開催されました。弊社はこのイベントで、かき氷やドリンク、各種フードのご提供に加え、プログラムの一環として、毎年恒例の松永建設グループ「IWATSUKI FESTIVAL 2025」を開催いたしました。

ステージでは、きくのかつゆ。様、EDM Strings feat.Tomo様、高橋美之様、鶴様など、多彩なアーティストをお迎えしてライブパフォーマンスを披露していただきました。さらに、弊社代表の松永大祐率いる「マツナガオヤジバンド」も会場を盛り上げ、お客様も社員も一体となって楽しむことができました。ご来場くださった皆様、誠にありがとうございました。



「まつけんチャンネル」で配信中！



「さいたま市優秀建設工事業者表彰」を受賞

この度、弊社は埼玉県さいたま市「一般国道122号蓮田岩槻バイパス道路改良工事(R5)(2債)」において、業者部門／技術者部門の2部門で「さいたま市優秀建設工事業者表彰」をいただきました。この表彰は、さいたま市が発注した工事について特に優秀な成績で完成させた受注者に贈られます。

10月24日、同表彰式にて表彰状を授与いただきました。この表彰を励みに、弊社はさらなる品質・技術力の向上に努めてまいります。



令和8年度「松永建設グループ内定式」を開催

10月1日、松永建設本社にて令和8年度入社の内定者10名を迎えた「松永建設グループ内定式」が開催されました。

同式典では、社長や役員から歓迎と激励の言葉を贈り、内定者の皆様からは社会人としての抱負を述べてもらいました。「有言実行を目標としたい」「信頼を得られる人間になりたい」「自分になりたいと思う人間に向かって学び続けたい」という、頼もしく力強い誓いの言葉を聞くことができ、「企業は人なり」をモットーとする弊社も改めて人材育成への想いを新たにしました。

これからも弊社グループは、夢と希望にあふれた新しい仲間と共に、全社一丸となって邁進してまいります。



「まつけんチャンネル」で配信中！



「三郷市優秀工事表彰」を受賞

この度、弊社は埼玉県三郷市「三郷市立前川中学校校舎改修工事」において、三郷市長より「令和7年度三郷市優秀工事表彰」を授与いただきました。

この表彰は、三郷市が発注した建設工事のうち、施工に関し特に優れた成績をおさめた工事の現場技術者を表彰するものです。7月24日、三郷市役所にて表彰状を授与いただきました。今後も弊社は、現場の安全管理に配慮し、安全第一で工事の施工に励んでまいります。

